

## 校内マラソン大会 ～10月28日～

1学期はどの学年も校庭を走りました。今学期は2年生以上が校庭を出て公道のコースを走りました。マラソンは楽な運動ではありません。自分の体調や気持ちと対話しながら、子供たちは自分のベストを尽くして頑張りました。当日は保護者の皆様、地域の皆様からたくさん声援をいただくとともに子供たちの安全のためにじいちゃんクラブの方々、駐在所の谷尾さんにお世話になりました。皆様ありがとうございました。



## 全校お弁当の日 ～11月8日～

この日は本校の特色ある教育活動の一つでもあるお弁当の日でした。今回は縦割り班で集まり、距離を十分にとったり換気に気をつけたりしながら、互いの笑顔を見ながらお弁当を楽しむことができました。ある班の6年生が「いつもは友達の背中を見て食べているのに今日はお互いの顔を見て食べるのができたよかったです」と感想を述べてくれました。ほんとうにその通りだと思いました。保護者の皆様、お弁当づくりへのご理解とご協力をありがとうございました。



## 4年生～6年生がリコーダー奏の練習に励んでいます

4年生から6年生が学習発表会で披露するリコーダー奏の練習に取り組んでいます。竹下克敏先生に指導に来ていただき、「合わせること、そろえること」の大切さを教わりながら一層懸命に取り組んでいます。本番を楽しみにしてください。  
※今年度の学習発表会は保護者の皆様、地域を代表し学校運営協議会委員の皆様にご案内をしています。ご理解いただきますようお願いいたします。



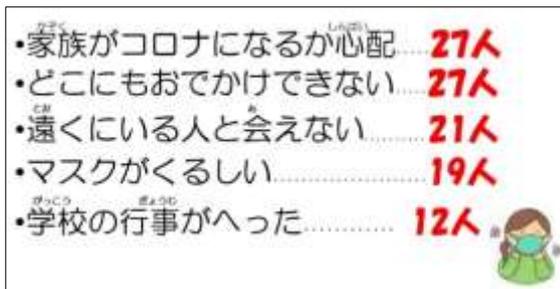
様々な活動をホームページでも紹介しています。  
ご覧ください。

# 保健委員会の集会

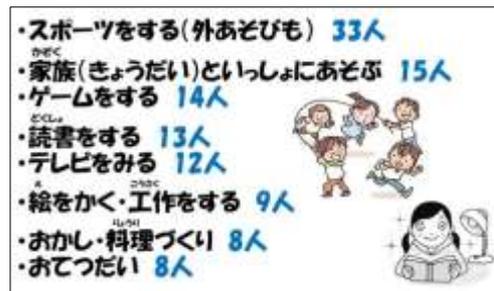
11月5日（金）保健委員会が計画した全校集会がありました。コロナウイルスについて、委員会の子供たちが全校にとったアンケートを



まとめ、台詞や映像で報告をしてくれたのです。詳細は10日発行済の保健だより「あったかろうむ」に譲りますが、この集会が子供たちが素直な気持ちを語ったり共感し合ったりする場となったことを嬉しく思いました。特に「家族のことが心配だった」というやさしい気持ちや、子供なりに生活や遊びを工夫して家族との時間を大切にしたり自分磨きに精を出したりしている様子がわかりジーンとききました。



コロナで困ったことは何ですか？ ↑



家でどんなことをしていましたか？ ↑

## 古典に挑戦 ～今月の詩の暗唱～

11月は「今月の詩」として古文を取りあげました。高学年の国

語では古文や漢文に触れますが、どの学年の子供も古典の言い回しやリズムに乗って詩を暗唱しています。小さい頃から『ふ』は『う』と読めるんだあ』と感じたり、「なり」や「ける」といった文末の響きを感じたりすることはステキなことですね。

古今和歌集仮名序 紀貫之  
やまと歌は、  
人の心を種として、  
よろづの言の葉とぞなれりける  
世の中にある人、  
事業、繁きものなれば、  
心に思ふことを、  
見るもの、聞くものにつけて、  
言ひ出せるなり。  
花に鳴く鶯  
水にすむ蛙の声を聞けば、  
生きとし生けるもの、  
いづれか歌を詠まざりける。

## 【校長コラム】～先手あいさつ～

8月から10月までの生活目標は「自分から気持ちのよいあいさつをしよう」でした。各学級での取組だけでなく、なかよし委員会が見守り隊や地域の方に登下校であいさつのよかった子供を「あいさつ名人」として紹介してもらう運動を行うなど、子供たちは熱心に取り組み、あいさつを頑張ってきました。

私も子供たちの前に立って話す機会に3回ほど、「あいさつ」を取り上げました。1回目は「あいさつの大切さ」について話しました。2回目は「先手あいさつ」について話しました。将棋などで先に始める方を「先手」ということ、あいさつにおいてもぜひ相手より先に「先手のあいさつ」を心がけてほしいと話しました。3回目にはあいさつで一番大切なのは「気持ち」であることを話しました。たとえば風邪を引いて大きな声が出せなくても「目をしっかり見る」「会釈をする」など声の大きさだけに頼らないあいさつの仕方もあり、相手に伝えたいという「気持ち」が一番大切であると伝えました。11月から生活目標は「プラスの言葉がけ、関わり方をしよう！」にかわりましたが、先手あいさつ、何よりも気持ちのこもったあいさつを家庭・学校・地域で続けてほしいと願います。

